

平成 29 年 10 月 30 日

デッドマン装置が働かない状態で運転した事象について

平成 29 年 10 月 23 日、函館 5 時 51 分発 森行き 普通列車において、運転士はデッドマン装置（※1）が働かない状態で走行できるようデッドマン装置のスイッチを「切」として運転をしていました。なお、A T S（※2）は正常に動作していました。

1. 発生日時 平成 29 年 10 月 23 日（月） 6 時 40 分～7 時 34 分頃
2. 発生区間 函館線 大沼～森駅間
3. 列車名 函館 5 時 51 分発 森行き 普通列車（キハ 40 形 1 両）
※定員：96 名、乗車：約 35 名
4. 原因 運転士がデッドマンペダルを踏まずに運転できるようデッドマン装置のスイッチを「切」としたためです。
5. その他 当該運転士は過去にも複数回、同様の事象を繰り返していたことも判明しました。

※1 デッドマン装置

運転士が気を失うなどして運転席の床面に設置されたデッドマンペダルを 5 秒以上踏まれていない状態になると、自動的に非常ブレーキを作動させる装置

※2 A T S（Automatic Train Stop）

自動列車停止装置